

道徳便り

令和5年4月27日(木)第4号 文責:小嶋

今年度も、「家庭で取り組む 高知の道徳」を活用していきたいと思います。この冊子は、家庭で子どもとのかかわりを一層深めるときに、また子どもの成長を振り返ったり喜びあったりするとき、学級懇談や道徳参観日・講演会等の場で、地域の集会等の場で活用する事もできます。この冊子は、学級で保管します。しかし、道徳の授業で使った場合や、道徳参観日等、その都度、家庭へ持ち帰り、学んだことや感じたことを、お子さんと一緒に考えたり話し合ったりしながら、お子さんとの心のコミュニケーションの手段としてお使い下さい。また、持ち帰って使用したら学校へ持って来て下さい。ご協力よろしく申し上げます。



P36~P37

「じぶんをみがき、もっとかがやこう」

- 自分の健康は 自分で守ろう
- 自分で身の回りをきれいにしよう
- 自分で上手に時間を使おう
- 自分から進んで学習しよう、体をきたえよう



※自分の「よいところ」・「のびたいところ」をお子さんと一緒に考えてあげてください。
(5月10日(水)までに持たせてください。)

子どもの成長は、家族や学校、地域みんなの喜びです。一緒になって喜び合いたいと思います。道徳科で学習する内容は、A:主として自分自身に関する事、B:主として人との関わりに関する事、C:主として集団や社会との関わりに関する事、D:主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事というように、道徳性を大きく4つの視点からとらえ、発達段階を考慮して、さらに細かく分類整理されています。(P22参照)

更に道徳科での評価は、授業改善のためのものであり、特に数値で評価して他の子ども達と比較することはありません。道徳科の評価は、道徳の授業で話し合われることを自分のこととして考えていたり、他の人の考えなどをしっかりと受け止めていたり、これからどうしていこうかと考えたいといった成長の様子を丁寧に見取り、記述により「励まし、伸ばす」評価を行います。

毎回、道徳便りを読んでくださってありがとうございます。これからも授業の様子や、子ども達の成長の様子、授業の感想等をお伝えできたら嬉しいです。

.....きりとり.....

名前 ()